

平成 26 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：上怒和集落

交付金額：5,032千円

協定参加世帯数：37人（うち漁業世帯37人）

2 協定締結の経緯

上怒和集落は、良好な漁場を有し、一本釣り、刺し網が盛んに行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、ひじき養殖業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・クロアワビ 3,000 個とキジハタ 2,500 尾を放流し資源の増大を図った。
- ・藻場改善のため、ヒジキブロックを投入した。（年 1 回）
- ・イカの産卵場整備のため、スギをつけたブロックを投入した（年 2 回）
- ・海域環境の保全のために、草刈り等を実施した。（年間 2 回）
- ・集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 3 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間 17 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

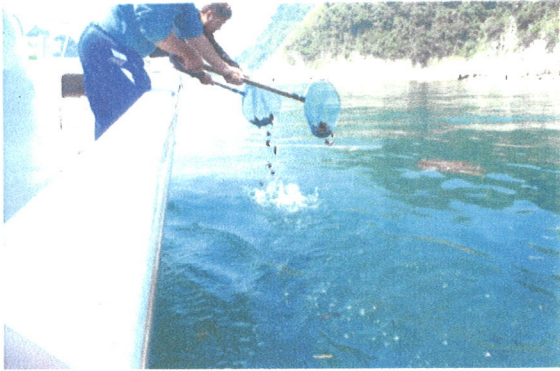
- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工組み、こうした加工品と鮮魚等をイベントで販売した。
- ・ヒジキの養殖に取り組み漁家所得の向上を図った。

4 取組の成果

- ・種苗放流や藻場改善、産卵場整備により資源の増大が図られた。
- ・海岸清掃、草刈り等を実施することにより、自然環境の保全が図られた。

- ・ 漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・ 簡易加工した水産物を販売することで漁家所得の向上が図られた。

種苗放流



産卵場の整備



海岸清掃



漁場監視



ヒジキの加工



水産物加工品のイベント販売

